

別記様式第8号(別記1の第6の1, 別記2の第5, 別記3の第5, 別記4の第6, 別記5の第6, 別記9の第6の1の(1)関係)

鳥獣被害防止総合支援事業、鳥獣被害防止都道府県活動支援事業(都道府県広域捕獲活動支援事業)、鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(令和6年度報告)

被害防止計画は県内43市町村のうち、42市町村が作成済みである。
対象鳥獣は、それぞれの市町村の状況に応じて設定されており、獣類ではイノシシ・シカ・サル・タヌキ・アナグマ等、鳥類では、カラス・ヒヨドリ等が多い。

事業効果の発現状況
令和6年度の農作物被害は、前年度よりヒヨドリの被害が大幅に増加したことにより、約242百万円増の約540百万円となった。
推進事業、整備事業、緊急捕獲活動支援事業を活用し、被害を減らすための対策に取り組んでいる。

推進事業では、被害防止対策研修会の開催やICT機器、捕獲機器の整備、狩猟免許取得者の確保、緊急捕獲活動支援事業では、有害鳥獣の捕獲活動経費の支援等により「（鳥獣を）寄せ付けない」「個体数を減らす」対策が進められている。また、整備事業では、電気柵等の整備により「侵入を防止する」対策が進められている。

3 被害防止計画の目標達成状況

「寄せ付けない」「侵入を防止する」「個体数を減らす」という3つの取組を柱に被害防止対策を推進しているが、全県的なヒヨドリによる被害や侵入防止柵等の設置ができていない地域での被害の増加により、目標の達成に至らない市町村もある。

4 各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象 地域	実施 年度	対象 鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用 開始	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価										
										被害金額				被害面積																
										現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率													
霧島市鳥獣被害 防止対策協議会 (霧島市)	霧島市 全域	R4	有害捕獲 被害防除	狩猟免許取得事前講習会受講料助成 14人 箱わな(大) 1基 箱わな(中) 3基 箱わな(小) 1基 箱わな(大型メッシュ仕様) 2基 箱わな(小動物用) 5基 プレート 12枚 事務用品 デジタルマスター 5個	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	R3	100%	イノシシ、シカ、サルによる水稻 や飼料作物等の被害が多発していた ことから、緊急捕獲活動支援事業を 活用し、山中において捕獲隊が有害 捕獲を行うとともに侵入防止柵を設 置、鳥獣出沒地や侵入防止柵周辺に 箱わなを設置し、捕獲数の増加に努 めた。また、令和5年度から年間を 通しての鳥獣被害に対応するため、 狩猟期間以外にも捕獲指示を出し、 有害鳥獣の捕獲を実施。さらに、令 和4年度から福山地区でのサル被害 が急増してきたことから、サルの有 効な対策の基礎資料とするため、行 動範囲等を分析するサル生態調査を 実施。	イノシシ 6,239 シカ 2,798 サル 120 タヌキ 11 アナグマ 91 カラス 563 ヒヨドリ 33 スズメ 13 合計 9,868	イノシシ 4,367 シカ 1,959 サル 84 タヌキ 6 アナグマ 64 カラス 394 ヒヨドリ 23 スズメ 9 合計 6,908	イノシシ 4,744 シカ 1,767 サル 947 タヌキ 5 アナグマ 96 カラス 444 ヒヨドリ 678 スズメ 19 合計 8,700	イノシシ 80% シカ 123% サル Δ2.29% タヌキ 200% アナグマ Δ19% カラス 70% ヒヨドリ Δ6.45% スズメ Δ15% 合計 39%	イノシシ 5.66 シカ 3.20 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.04 カラス 0.12 ヒヨドリ 0.02 スズメ 0.01 合計 9.13	イノシシ 3.96 シカ 2.24 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.03 カラス 0.08 ヒヨドリ 0.01 スズメ 0.02 合計 6.39	イノシシ 4.11 シカ 1.72 サル 0.23 タヌキ 0.00 アナグマ 0.05 カラス 0.06 ヒヨドリ 0.22 スズメ 0.01 合計 6.41	イノシシ 91% シカ Δ54% サル Δ75% タヌキ 0% アナグマ Δ100% カラス 0.04% ヒヨドリ Δ2,000% スズメ 0% 合計 99%	侵入防止柵の整備や有害鳥獣捕獲 により、被害面積の達成率には寄与 できている。しかし、野生動物の居 住環境の変化等で生息範囲が拡大し ており、被害金額の減少は思うよう に進んでいない。	被害減が捕獲数の増加に伴ってい ないので、捕獲努力は今のままで継 続し被害防除に活きるような事業に 取り組まれるとより良くなると思わ れる。また、捕獲手法の見直しや報 奨金の出し方を工夫することでより 良い捕獲活動につながると思われ る。	イノシシ、シカの捕獲、侵入防止 柵の設置に取り組んでいるが、生息 数が多いことから、被害金額・面積 ともに軽減されていない。											
				鳥獣被害防止施設					ワイヤーメッシュ柵 7地区 13,272m 電気柵(2段) 8地区 16,489m 電気柵(4段) 6地区 13,769m	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	R4	100%	イノシシ 1,167頭 イノシシ(幼) 105頭 シカ 978頭 シカ(幼) 11頭 サル 15頭 サル(幼) 2頭 タヌキ 110頭 アナグマ 486頭 カラス 12羽	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%															
									緊急捕獲							イノシシ 1,167頭 イノシシ(幼) 105頭 シカ 978頭 シカ(幼) 11頭 サル 15頭 サル(幼) 2頭 タヌキ 110頭 アナグマ 486頭 カラス 12羽	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%												
			有害捕獲		狩猟免許取得事前講習会受講料助成 13人 箱わな(大) 3基 箱わな(中) 1基 箱わな(小) 2基 箱わな(サル用) 3基 箱わな(踏板式) 4基 プレート 12枚 事務用品	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	R4	100%								イノシシ 6,239 シカ 2,798 サル 120 タヌキ 11 アナグマ 91 カラス 563 ヒヨドリ 33 スズメ 13 合計 9,868			イノシシ 4,367 シカ 1,959 サル 84 タヌキ 6 アナグマ 64 カラス 394 ヒヨドリ 23 スズメ 9 合計 6,908	イノシシ 4,744 シカ 1,767 サル 947 タヌキ 5 アナグマ 96 カラス 444 ヒヨドリ 678 スズメ 19 合計 8,700	イノシシ 80% シカ 123% サル Δ2.29% タヌキ 200% アナグマ Δ19% カラス 70% ヒヨドリ Δ6.45% スズメ Δ15% 合計 39%	イノシシ 5.66 シカ 3.20 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.04 カラス 0.12 ヒヨドリ 0.02 スズメ 0.01 合計 9.13	イノシシ 3.96 シカ 2.24 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.03 カラス 0.08 ヒヨドリ 0.01 スズメ 0.02 合計 6.39	イノシシ 4.11 シカ 1.72 サル 0.23 タヌキ 0.00 アナグマ 0.05 カラス 0.06 ヒヨドリ 0.22 スズメ 0.01 合計 6.41	イノシシ 91% シカ Δ54% サル Δ75% タヌキ 0% アナグマ Δ100% カラス 0.04% ヒヨドリ Δ2,000% スズメ 0% 合計 99%	侵入防止柵の整備や有害鳥獣捕獲 により、被害面積の達成率には寄与 できている。しかし、野生動物の居 住環境の変化等で生息範囲が拡大し ており、被害金額の減少は思うよう に進んでいない。	被害減が捕獲数の増加に伴ってい ないので、捕獲努力は今のままで継 続し被害防除に活きるような事業に 取り組まれるとより良くなると思わ れる。また、捕獲手法の見直しや報 奨金の出し方を工夫することでより 良い捕獲活動につながると思われ る。	イノシシ、シカの捕獲、侵入防止 柵の設置に取り組んでいるが、生息 数が多いことから、被害金額・面積 ともに軽減されていない。		
				鳥獣被害防止施設	ワイヤーメッシュ柵 5地区 10,791m 電気柵(4段) 2地区 3,048m 複合柵 1地区 1,240m					霧島市鳥獣被害防止対策協議会	R4	100%	イノシシ 1,497頭 イノシシ(幼) 157頭 シカ 893頭 シカ(幼) 14頭 サル 16頭 サル(幼) 7頭 タヌキ 144頭 アナグマ 482頭 カラス 22羽	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%															
					緊急捕獲				イノシシ 1,497頭 イノシシ(幼) 157頭 シカ 893頭 シカ(幼) 14頭 サル 16頭 サル(幼) 7頭 タヌキ 144頭 アナグマ 482頭 カラス 22羽								霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%												
		有害捕獲 生息環境管理	狩猟免許取得事前講習会受講料助成 18人 箱わな(大) 1基 箱わな(中) 5基 箱わな(サル用) 3基 プレート 9枚 事務用品 サル生態調査			霧島市鳥獣被害防止対策協議会	R5	100%	イノシシ 6,239 シカ 2,798 サル 120 タヌキ 11 アナグマ 91 カラス 563 ヒヨドリ 33 スズメ 13 合計 9,868							イノシシ 4,367 シカ 1,959 サル 84 タヌキ 6 アナグマ 64 カラス 394 ヒヨドリ 23 スズメ 9 合計 6,908			イノシシ 4,744 シカ 1,767 サル 947 タヌキ 5 アナグマ 96 カラス 444 ヒヨドリ 678 スズメ 19 合計 8,700	イノシシ 80% シカ 123% サル Δ2.29% タヌキ 200% アナグマ Δ19% カラス 70% ヒヨドリ Δ6.45% スズメ Δ15% 合計 39%	イノシシ 5.66 シカ 3.20 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.04 カラス 0.12 ヒヨドリ 0.02 スズメ 0.01 合計 9.13	イノシシ 3.96 シカ 2.24 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.03 カラス 0.08 ヒヨドリ 0.01 スズメ 0.02 合計 6.39	イノシシ 4.11 シカ 1.72 サル 0.23 タヌキ 0.00 アナグマ 0.05 カラス 0.06 ヒヨドリ 0.22 スズメ 0.01 合計 6.41	イノシシ 91% シカ Δ54% サル Δ75% タヌキ 0% アナグマ Δ100% カラス 0.04% ヒヨドリ Δ2,000% スズメ 0% 合計 99%	侵入防止柵の整備や有害鳥獣捕獲 により、被害面積の達成率には寄与 できている。しかし、野生動物の居 住環境の変化等で生息範囲が拡大し ており、被害金額の減少は思うよう に進んでいない。	被害減が捕獲数の増加に伴ってい ないので、捕獲努力は今のままで継 続し被害防除に活きるような事業に 取り組まれるとより良くなると思わ れる。また、捕獲手法の見直しや報 奨金の出し方を工夫することでより 良い捕獲活動につながると思われ る。	イノシシ、シカの捕獲、侵入防止 柵の設置に取り組んでいるが、生息 数が多いことから、被害金額・面積 ともに軽減されていない。			
			鳥獣被害防止施設	ワイヤーメッシュ柵 8地区 12,762m 電気柵(2段) 4地区 7,320m 電気柵(4段) 6地区 10,965m						霧島市鳥獣被害防止対策協議会	R5	100%	イノシシ 2,819頭 イノシシ(幼) 179頭 シカ 1,625頭 シカ(幼) 14頭 サル 12頭 サル(幼) 3頭 タヌキ 319頭 アナグマ 816頭 カラス 23羽	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%															
				緊急捕獲	イノシシ 2,819頭 イノシシ(幼) 179頭 シカ 1,625頭 シカ(幼) 14頭 サル 12頭 サル(幼) 3頭 タヌキ 319頭 アナグマ 816頭 カラス 23羽												霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%												
		有害捕獲 生息環境管理			狩猟免許取得事前講習会受講料助成 18人 箱わな(大) 1基 箱わな(中) 5基 箱わな(サル用) 3基 プレート 9枚 事務用品 サル生態調査	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	R5	100%	イノシシ 6,239 シカ 2,798 サル 120 タヌキ 11 アナグマ 91 カラス 563 ヒヨドリ 33 スズメ 13 合計 9,868							イノシシ 4,367 シカ 1,959 サル 84 タヌキ 6 アナグマ 64 カラス 394 ヒヨドリ 23 スズメ 9 合計 6,908			イノシシ 4,744 シカ 1,767 サル 947 タヌキ 5 アナグマ 96 カラス 444 ヒヨドリ 678 スズメ 19 合計 8,700	イノシシ 80% シカ 123% サル Δ2.29% タヌキ 200% アナグマ Δ19% カラス 70% ヒヨドリ Δ6.45% スズメ Δ15% 合計 39%	イノシシ 5.66 シカ 3.20 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.04 カラス 0.12 ヒヨドリ 0.02 スズメ 0.01 合計 9.13	イノシシ 3.96 シカ 2.24 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.03 カラス 0.08 ヒヨドリ 0.01 スズメ 0.02 合計 6.39	イノシシ 4.11 シカ 1.72 サル 0.23 タヌキ 0.00 アナグマ 0.05 カラス 0.06 ヒヨドリ 0.22 スズメ 0.01 合計 6.41	イノシシ 91% シカ Δ54% サル Δ75% タヌキ 0% アナグマ Δ100% カラス 0.04% ヒヨドリ Δ2,000% スズメ 0% 合計 99%	侵入防止柵の整備や有害鳥獣捕獲 により、被害面積の達成率には寄与 できている。しかし、野生動物の居 住環境の変化等で生息範囲が拡大し ており、被害金額の減少は思うよう に進んでいない。	被害減が捕獲数の増加に伴ってい ないので、捕獲努力は今のままで継 続し被害防除に活きるような事業に 取り組まれるとより良くなると思わ れる。また、捕獲手法の見直しや報 奨金の出し方を工夫することでより 良い捕獲活動につながると思われ る。	イノシシ、シカの捕獲、侵入防止 柵の設置に取り組んでいるが、生息 数が多いことから、被害金額・面積 ともに軽減されていない。			
鳥獣被害防止施設	ワイヤーメッシュ柵 1地区 420m		霧島市鳥獣被害防止対策協議会		R3					100%	イノシシ 371頭 イノシシ(幼) 42頭 シカ 796頭 シカ(幼) 1頭 サル 3頭 タヌキ 113頭 アナグマ 174頭	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%																	
	緊急捕獲			イノシシ 371頭 イノシシ(幼) 42頭 シカ 796頭 シカ(幼) 1頭 サル 3頭 タヌキ 113頭 アナグマ 174頭										霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%															
		有害捕獲		狩猟免許取得事前講習会受講料助成 6人 箱わな(サル用) 1基		湯水町有害捕獲対策協議会	R4	100%	イノシシ 6,239 シカ 2,798 サル 120 タヌキ 11 アナグマ 91 カラス 563 ヒヨドリ 33 スズメ 13 合計 9,868							イノシシ 4,367 シカ 1,959 サル 84 タヌキ 6 アナグマ 64 カラス 394 ヒヨドリ 23 スズメ 9 合計 6,908	イノシシ 4,744 シカ 1,767 サル 947 タヌキ 5 アナグマ 96 カラス 444 ヒヨドリ 678 スズメ 19 合計 8,700	イノシシ 80% シカ 123% サル Δ2.29% タヌキ 200% アナグマ Δ19% カラス 70% ヒヨドリ Δ6.45% スズメ Δ15% 合計 39%	イノシシ 5.66 シカ 3.20 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.04 カラス 0.12 ヒヨドリ 0.02 スズメ 0.01 合計 9.13	イノシシ 3.96 シカ 2.24 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.03 カラス 0.08 ヒヨドリ 0.01 スズメ 0.02 合計 6.39	イノシシ 4.11 シカ 1.72 サル 0.23 タヌキ 0.00 アナグマ 0.05 カラス 0.06 ヒヨドリ 0.22 スズメ 0.01 合計 6.41	イノシシ 91% シカ Δ54% サル Δ75% タヌキ 0% アナグマ Δ100% カラス 0.04% ヒヨドリ Δ2,000% スズメ 0% 合計 99%	侵入防止柵の整備や有害鳥獣捕獲 により、被害面積の達成率には寄与 できている。しかし、野生動物の居 住環境の変化等で生息範囲が拡大し ており、被害金額の減少は思うよう に進んでいない。	被害減が捕獲数の増加に伴ってい ないので、捕獲努力は今のままで継 続し被害防除に活きるような事業に 取り組まれるとより良くなると思わ れる。また、捕獲手法の見直しや報 奨金の出し方を工夫することでより 良い捕獲活動につながると思われ る。	イノシシ、シカの捕獲、侵入防止 柵の設置に取り組んでいるが、生息 数が多いことから、被害金額・面積 ともに軽減されていない。					
鳥獣被害防止施設			ワイヤーメッシュ柵 1地区 420m	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	R3					100%	イノシシ 371頭 イノシシ(幼) 42頭 シカ 796頭 シカ(幼) 1頭 サル 3頭 タヌキ 113頭 アナグマ 174頭	霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%																	
	緊急捕獲		イノシシ 371頭 イノシシ(幼) 42頭 シカ 796頭 シカ(幼) 1頭 サル 3頭 タヌキ 113頭 アナグマ 174頭											霧島市鳥獣被害防止対策協議会	100%															
		有害捕獲	狩猟免許取得事前講習会受講料助成 8人 箱わな(大) 1基 箱わな(小) 1基			湯水町有害捕獲対策協議会	R4	100%	イノシシ 6,239 シカ 2,798 サル 120 タヌキ 11 アナグマ 91 カラス 563 ヒヨドリ 33 スズメ 13 合計 9,868							イノシシ 4,367 シカ 1,959 サル 84 タヌキ 6 アナグマ 64 カラス 394 ヒヨドリ 23 スズメ 9 合計 6,908	イノシシ 4,744 シカ 1,767 サル 947 タヌキ 5 アナグマ 96 カラス 444 ヒヨドリ 678 スズメ 19 合計 8,700	イノシシ 80% シカ 123% サル Δ2.29% タヌキ 200% アナグマ Δ19% カラス 70% ヒヨドリ Δ6.45% スズメ Δ15% 合計 39%	イノシシ 5.66 シカ 3.20 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.04 カラス 0.12 ヒヨドリ 0.02 スズメ 0.01 合計 9.13	イノシシ 3.96 シカ 2.24 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.03 カラス 0.08 ヒヨドリ 0.01 スズメ 0.02 合計 6.39	イノシシ 4.11 シカ 1.72 サル 0.23 タヌキ 0.00 アナグマ 0.05 カラス 0.06 ヒヨドリ 0.22 スズメ 0.01 合計 6.41	イノシシ 91% シカ Δ54% サル Δ75% タヌキ 0% アナグマ Δ100% カラス 0.04% ヒヨドリ Δ2,000% スズメ 0% 合計 99%	侵入防止柵の整備や有害鳥獣捕獲 により、被害面積の達成率には寄与 できている。しかし、野生動物の居 住環境の変化等で生息範囲が拡大し ており、被害金額の減少は思うよう に進んでいない。	被害減が捕獲数の増加に伴ってい ないので、捕獲努力は今のままで継 続し被害防除に活きるような事業に 取り組まれるとより良くなると思わ れる。また、捕獲手法の見直しや報 奨金の出し方を工夫することでより 良い捕獲活動につながると思われ る。	イノシシ、シカの捕獲、侵入防止 柵の設置に取り組んでいるが、生息 数が多いことから、被害金額・面積 ともに軽減されていない。					
鳥獣被害防止施設			ワイヤーメッシュ柵 1地区 420m	湯水町有害捕獲対策協議会	R4					100%	イノシシ 6,239 シカ 2,798 サル 120 タヌキ 11 アナグマ 91 カラス 563 ヒヨドリ 33 スズメ 13 合計 9,868	イノシシ 4,367 シカ 1,959 サル 84 タヌキ 6 アナグマ 64 カラス 394 ヒヨドリ 23 スズメ 9 合計 6,908	イノシシ 4,744 シカ 1,767 サル 947 タヌキ 5 アナグマ 96 カラス 444 ヒヨドリ 678 スズメ 19 合計 8,700													イノシシ 80% シカ 123% サル Δ2.29% タヌキ 200% アナグマ Δ19% カラス 70% ヒヨドリ Δ6.45% スズメ Δ15% 合計 39%	イノシシ 5.66 シカ 3.20 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.04 カラス 0.12 ヒヨドリ 0.02 スズメ 0.01 合計 9.13	イノシシ 3.96 シカ 2.24 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.03 カラス 0.08 ヒヨドリ 0.01 スズメ 0.02 合計 6.39	イノシシ 4.11 シカ 1.72 サル 0.23 タヌキ 0.00 アナグマ 0.05 カラス 0.06 ヒヨドリ 0.22 スズメ 0.01 合計 6.41	イノシシ 91% シカ Δ54% サル Δ75% タヌキ 0% アナグマ Δ100% カラス 0.04% ヒヨドリ Δ2,000% スズメ 0% 合計 99%
	鳥獣被害防止施設		ワイヤーメッシュ柵 1地区 420m											湯水町有害捕獲対策協議会	R4															
		緊急捕獲	イノシシ 371頭 イノシシ(幼) 42頭 シカ 796頭 シカ(幼) 1頭 サル 3頭 タヌキ 113頭 アナグマ 174頭			湯水町有害捕獲対策協議会	R4	100%	イノシシ 6,239 シカ 2,798 サル 120 タヌキ 11 アナグマ 91 カラス 563 ヒヨドリ 33 スズメ 13 合計 9,868							イノシシ 4,367 シカ 1,959 サル 84 タヌキ 6 アナグマ 64 カラス 394 ヒヨドリ 23 スズメ 9 合計 6,908	イノシシ 4,744 シカ 1,767 サル 947 タヌキ 5 アナグマ 96 カラス 444 ヒヨドリ 678 スズメ 19 合計 8,700	イノシシ 80% シカ 123% サル Δ2.29% タヌキ 200% アナグマ Δ19% カラス 70% ヒヨドリ Δ6.45% スズメ Δ15% 合計 39%	イノシシ 5.66 シカ 3.20 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.04 カラス 0.12 ヒヨドリ 0.02 スズメ 0.01 合計 9.13	イノシシ 3.96 シカ 2.24 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.03 カラス 0.08 ヒヨドリ 0.01 スズメ 0.02 合計 6.39	イノシシ 4.11 シカ 1.72 サル 0.23 タヌキ 0.00 アナグマ 0.05 カラス 0.06 ヒヨドリ 0.22 スズメ 0.01 合計 6.41	イノシシ 91% シカ Δ54% サル Δ75% タヌキ 0% アナグマ Δ100% カラス 0.04% ヒヨドリ Δ2,000% スズメ 0% 合計 99%	侵入防止柵の整備や有害鳥獣捕獲 により、被害面積の達成率には寄与 できている。しかし、野生動物の居 住環境の変化等で生息範囲が拡大し ており、被害金額の減少は思うよう に進んでいない。	被害減が捕獲数の増加に伴ってい ないので、捕獲努力は今のままで継 続し被害防除に活きるような事業に 取り組まれるとより良くなると思わ れる。また、捕獲手法の見直しや報 奨金の出し方を工夫することでより 良い捕獲活動につながると思われ る。	イノシシ、シカの捕獲、侵入防止 柵の設置に取り組んでいるが、生息 数が多いことから、被害金額・面積 ともに軽減されていない。					
鳥獣被害防止施設			ワイヤーメッシュ柵 1地区 420m	湯水町有害捕獲対策協議会	R4					100%	イノシシ 6,239 シカ 2,798 サル 120 タヌキ 11 アナグマ 91 カラス 563 ヒヨドリ 33 スズメ 13 合計 9,868	イノシシ 4,367 シカ 1,959 サル 84 タヌキ 6 アナグマ 64 カラス 394 ヒヨドリ 23 スズメ 9 合計 6,908	イノシシ 4,744 シカ 1,767 サル 947 タヌキ 5 アナグマ 96 カラス 444 ヒヨドリ 678 スズメ 19 合計 8,700													イノシシ 80% シカ 123% サル Δ2.29% タヌキ 200% アナグマ Δ19% カラス 70% ヒヨドリ Δ6.45% スズメ Δ15% 合計 39%	イノシシ 5.66 シカ 3.20 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.04 カラス 0.12 ヒヨドリ 0.02 スズメ 0.01 合計 9.13	イノシシ 3.96 シカ 2.24 サル 0.06 タヌキ 0.00 アナグマ 0.03 カラス 0.08 ヒヨドリ 0.01 スズメ 0.02 合計 6.39	イノシシ 4.11 シカ 1.72 サル 0.23 タヌキ 0.00 アナグマ 0.05 カラス 0.06 ヒヨドリ 0.22 スズメ 0.01 合計 6.41	イノシシ 91% シカ Δ54% サル Δ75% タヌキ 0% アナグマ Δ100% カラス 0.04% ヒヨドリ Δ2,000% スズメ 0% 合計 99%

事業実施主体名 (協議会名)	対象 地域	実施 年度	対象 鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用 開始	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績										事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価						
										被害金額					被害面積													
										現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率											
中種子町鳥獣被害対策協議会	中種子町全域	R4	シカ カラス	有害捕獲	くくりわな 70基	中種子町鳥獣被害対策協議会	R4	100%	シカ カラス 合計	3,836 928 4,764	シカ カラス 合計	2,685 649 3,334	シカ カラス 合計	618 339 948	シカ カラス 合計	280% 214% 267%	シカ カラス 合計	3.84 0.35 4.19	シカ カラス 合計	2.68 24 2.92	シカ カラス 合計	0.43 0.43 0.86	シカ カラス 合計	294% △73% 262%	令和2年には、いも類の被害が顕著であったが、基腐病の拡大により栽培面積が566.1haから300.6haにおおよそ半減し、いも類の被害が減少した。令和6年には、令和2年で被害が少なかった工芸作物であるさとうきびのシカ、カラスによる被害が増加や被害を抑えるために非常に重要な地域であり、十分な捕獲と防除を実施を行うことで侵入防止柵を設置し、中種子町猟友会の捕獲活動により被害は著しく減少した。さらに、シカの捕獲数は年々減少していることから、個体数の減少が被害削減に寄与していると考えられる。今後も、農家等に被害対策の広報を行い、猟友会と連携して捕獲活動を推進し、被害対策に努めていく。	中種子町の農作物被害は、シカの被害が主である。シカについては捕獲を中心とした被害対策と侵入防止柵の設置により、被害面積及び被害額は減少しており、事業の効果は得られている。今後は、整備した侵入防止柵の適正な管理を行う必要がある。また、捕獲従事者の高齢化等を踏まえ、捕獲者の負担を減らす取組も必要となる。なお、鳥獣被害対策の基本となる「寄せ付けない」「侵入を防止する」「個体数を減らす」などの取組は、今後も継続していく必要がある。		
				鳥獣被害防止施設	電気柵（5段） 金網柵 1地区	8地区 29,536m 3,146m		中種子町鳥獣被害対策協議会																			100%	
				緊急捕獲	シカ カラス	900頭 15羽		—																			100%	
				有害捕獲	くくりわな 123基	中種子町鳥獣被害対策協議会		100%																				
				鳥獣被害防止施設	電気柵（5段） 金網柵 1地区	2地区 4,501m 2,383m		中種子町鳥獣被害対策協議会																			100%	
		R5	シカ カラス	緊急捕獲	シカ カラス	723頭 30羽	—	100%																				
				有害捕獲 被害防除	くくりわな 60基 追払い活動労費 事務用品	中種子町鳥獣被害対策協議会	100%																					
				鳥獣被害防止施設	電気柵（5段） 1地区	4,147m	中種子町鳥獣被害対策協議会	100%																				
				緊急捕獲	シカ カラス	490頭 38羽	—	100%																				
				有害捕獲 被害防除	—	—	—	—																			—	—
奄美市鳥獣被害防止対策協議会 (奄美市)	奄美市全域	R4	カラス ヒヨドリ イノシシ	有害捕獲 被害防除	狩猟免許(初心者)講習会助成 2名 カラス捕獲小屋 1基 講習会の開催 1回	奄美市鳥獣被害防止対策協議会	R4	100%	カラス ヒヨドリ ネズミ イノシシ 合計	1,053 1,106 1,070 7,075 10,305	カラス ヒヨドリ ネズミ イノシシ 合計	737 9,616 749 4,953 7,213	カラス ヒヨドリ ネズミ イノシシ 合計	282 9,616 1,000 4,357 15,255	カラス ヒヨドリ ネズミ イノシシ 合計	0.92 1.29 0.93 7.88 11.02	カラス ヒヨドリ ネズミ イノシシ 合計	0.64 0.90 0.65 5.52 7.71	カラス ヒヨドリ ネズミ イノシシ 合計	0.10 12.26 1.03 5.40 18.79	カラス ヒヨドリ ネズミ イノシシ 合計	293% △2.81% △35.7% 105% △236%	本事業の実施により、主にイノシシ、カラスの被害対策につなげているところである。引き続き被害防止計画に基じた緊急捕獲等を実施し、連携して取り組んでいる。令和6年度は奄美市全域で被害が深刻化し、奄美市も例年と比べて全体の被害額も大幅に増加している。ヒヨドリによる被害が大きい。根本的な情報共有等が重要と考えている。	推進事業で導入した柵わなに設置し、センサーで落とし戸が落下する機材の導入によって成獣の捕獲率が上がり捕獲効率の上昇が見られている。整備事業で導入した金網柵は、設置効果が得られているが、いずれもイノシシを対象としていない。令和6年度からアナグマ、クロウサギも対象とした柵への転換が始まっており、今後も両種に対応した柵の導入の推進が求められる。また、令和6年度は大型捕獲器での実績があげられていた。一方、地域によっては引き続き被害報告があるため、個別の対応も必要である。令和6年度はヒヨドリによる被害によって全体の被害額も大幅に増加している。ヒヨドリによる被害が大きい。根本的な情報共有等が重要と考えている。	カラス及びイノシシによる被害について、カラス捕獲小屋や柵わな、侵入防止柵の設置等により、被害金額・面積ともに達成状況判定基準の70%を大幅に上回っている。柵未設置の地域では、被害が続いているため、引き続き被害防止対策を行う必要がある。ヒヨドリによる被害について、令和6年度は奄美市全域で被害が深刻化し、奄美市も例年と比べて全体の被害額も大幅に増加している。ヒヨドリによる被害が大きい。根本的な情報共有等が重要と考えている。			
				鳥獣被害防止施設	金網柵 電気柵 2地区	2地区 5,920m 505m		小宮地区侵入防止柵管理組合 古見方地区侵入防止柵管理組合 住用地区侵入防止柵管理組合																		100%		
				緊急捕獲	イノシシ カラス	343頭 3羽		—																		100%		
				有害捕獲 被害防除	狩猟免許(初心者)講習会助成 2名 柵わな 10基 アニマルセンサー 10台 ジビエ等の利用拡大に向けた地域の組合（販売拡大支援）	奄美市鳥獣被害防止対策協議会		100%																				
				鳥獣被害防止施設	金網柵 2地区	3,460m		下方地区侵入防止柵管理組合 住用地区侵入防止柵管理組合																		100%		
		R5	カラス ヒヨドリ イノシシ	緊急捕獲	イノシシ イノシシ(幼)	170頭 28頭	—	100%																				
				有害捕獲 被害防除	柵わな 2基 アニマルセンサー 2台 イノシシ捕獲網 2本 射切歯手袋 2組 研修会参加 1名	奄美市鳥獣被害防止対策協議会	100%																					
				鳥獣被害防止施設	金網柵 2地区	2,780m	下方地区侵入防止柵管理組合 古見方地区侵入防止柵管理組合	100%																				
				緊急捕獲	イノシシ イノシシ(幼) カラス	343頭 33頭 7羽	—	100%																				
				有害捕獲 被害防除	—	—	—	—																		—	—	—
西郷鑑 鹿児島市鳥獣被害防止対策協議会	鹿児島市全域	R3	イノシシ シカ アナグマ タヌキ ヒヨドリ カラス	有害捕獲 被害防除	狩猟免許取得事前講習会受講料助成 14人 センサーカメラ 5台 対策用録画DVD 1セット	鹿児島鳥獣被害防止対策協議会	R3	100%	イノシシ アナグマ シカ タヌキ カラス ヒヨドリ 合計	9,096 2,241 770 814 1,968 1,460 16,349	イノシシ アナグマ シカ タヌキ カラス ヒヨドリ 合計	6,367 1,569 539 570 1,378 1,022 11,445	イノシシ アナグマ シカ タヌキ カラス ヒヨドリ	8,328 1,974 1,526 512 1,808 4,874 19,022	イノシシ アナグマ シカ タヌキ カラス ヒヨドリ 合計	28% 40% △32% 124% 27% △77% △55%	イノシシ アナグマ シカ タヌキ カラス ヒヨドリ 合計	7.45 1.34 0.72 0.52 1.46 0.91 12.40	イノシシ アナグマ シカ タヌキ カラス ヒヨドリ 合計	5.20 0.90 0.50 0.40 1.00 0.60 2.64	イノシシ アナグマ シカ タヌキ カラス ヒヨドリ 合計	6.18 1.04 1.28 0.28 1.13 0.61 12.59	イノシシ アナグマ シカ タヌキ カラス ヒヨドリ 合計	56% 69% △25% 200% 72% △58% △45%	被害が一番大きかったイノシシについては、緊急捕獲活動支援事業の活用により捕獲活動を強化したこと、捕獲頭数も増加し被害額も基準年より減少していることから、一定の効果があったものと考えている。しかし、イノシシをはじめ野生動物が市街地に至り出没するケースが増加していることから生息数を抑えることができていないと推察される。継続して有害捕獲を実施していくが、捕獲を担う猟友会員も高齢化していることから、労力軽減や捕獲効率の向上を図っていく必要があると考えている。	鳥獣被害対策事業において、推進事業及び緊急捕獲活動支援事業は着実に実績を上げている。しかし、イノシシなどによる被害は高止まりの状況が続いており、被害の爆発的な増加を抑えているものの、根本的な解決には至っていない。一方、整備事業は市街地で進められており、捕獲圧との相乗効果によって被害の深刻化を防ぐ一定の成果を上げている。この成果は、整備事業が適切に機能していることの表れと考えられる。特に、多くの都市部や都市近郊地域が複雑な環境構造を持つため、今後の捕獲活動は一層困難になることが予想される。都市型の鳥獣被害問題は依然として大きな課題であるが、幸いにも都市や警察を含む連絡体制は既に構築されている。今後はこの連携体制を最大限に活用し、市民の理解を深め、捕獲活動への支援を強化していく必要がある。また、縦断帯からの直接的な被害発生が増加する可能性があるため、縦断帯の整備は引き続き重要な課題であり、継続して進めていく必要がある。捕獲者の育成に関しては、最新の捕獲技術や捕獲実験に関する情報を積極的に収集し、普及啓発活動と並行して進めていくことが不可欠である。集落環境整備については、農村部とは異なる都市型集落の特性を踏まえる必要がある。現状説明を通じて意識の共有を図り、協働作業を促進するための集落共同体構築の再構築を積極的に実施していくことが求められる。（株式会社 九州自然環境研究所 塩谷 克典氏）	緊急捕獲活動支援事業の活用により、イノシシやシカの捕獲頭数は増加している一方で、被害金額全体には、地域ごとで鳥獣の捕獲、侵入防止対策、生息環境管理の徹底を推進するとともに、捕獲従事者の高齢化に対応するため、ICT等の技術を活用した効率的な被害対策の推進が必要である。	
				緊急捕獲	イノシシ イノシシ(幼)	1,250頭 36頭 シカ 266頭 タヌキ 108頭 アナグマ 460頭 カラス 409羽 ヒヨドリ 100羽		—																				100%
				有害捕獲	狩猟免許取得事前講習会受講料助成 5人 柵わな(大) 10基 センサー式自動捕獲システム 10基 センサーカメラ 5台	鹿児島鳥獣被害防止対策協議会		100%																				
				緊急捕獲	イノシシ イノシシ(幼)	1,299頭 64頭 シカ 264頭 シカ 118頭 タヌキ 114頭 アナグマ 528頭 カラス 178羽 ヒヨドリ 100羽		—																				100%
				有害捕獲 被害防除 ICT等新技术実証	狩猟免許取得事前講習会受講料助成 4人 柵わな(大) 11基 センサー式自動捕獲システム 11基 センサーカメラ 5台 カメラスタンド 5台 被害対策研修会 2回 捕獲通知機器 1式	鹿児島鳥獣被害防止対策協議会		100%																				
		R5	イノシシ シカ アナグマ タヌキ ヒヨドリ カラス	緊急捕獲	イノシシ イノシシ(幼)	1,634頭 86頭 シカ 320頭 シカ 100頭 タヌキ 425頭 アナグマ 118羽 ヒヨドリ 210羽	—	100%																				

事業実施主体名 (協議会名)	対象 地域	実施 年度	対象 鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用 開始	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績										事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価
										被害金額				被害面積								
										現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率					
西野鑑 さつま町鳥獣被害防止対策協議会	さつま町全域	R3	推進体制の整備 有害捕獲	会議開催事務費 狩猟免許取得事前講習会受講料助成 7人 生息状況調査員 1人(135日) 調査員燃料代(7月~2月) 調査員労災保険料 1人 箱わな資材(ワイヤー罠り糸) 小型数用箱わな 10基 自動撮影カメラ 1基	さつま町鳥獣被害防止対策協議会	R3	100%	推進事業では、被害状況調査員による被害状況の把握に努めたほか、狩猟免許取得に必要な狩猟講習会経費の助成を行い、有害鳥獣捕獲従事者の確保と育成を図りながら被害防止に向けた取り組みを行った。また、サルの捕獲用罠いわなの設置、サル退払い用ロープの導入により、サル対策の強化を図った。 整備事業では、イノシシやニホンジカの被害防止対策として、ワイヤーメッシュ柵・電気柵(直蓋施工)を設置し、設置後も管理作業報告書を年3回提出することにより、適正な維持管理の継続と被害状況確認を把握することで被害防止効果が見られた。しかし、侵入防止柵を設置してない山地では、捕獲頭数を上回る個体数の増加や生息範囲の広域化がみられる。 これまでに、捕獲したシカ、イノシシ等は全部処理されているが、ジビエ加工施設が令和6年度に建設されたことにより、食肉等の利活用が期待できる。	イノシシ 15,446 シカ 5,017 サル 59 アナグマ 1,734 カラス 1,705 スズメ 247 ヒヨドリ 213 合計 24,421	イノシシ 10,812 シカ 3,512 サル 41 アナグマ 1,214 カラス 1,194 スズメ 173 ヒヨドリ 149 合計 17,095	イノシシ 24,024 シカ 3,217 サル 30 アナグマ 30 カラス 2,796 スズメ 15 ヒヨドリ 333 合計 30,495	イノシシ △185% シカ 120% サル △117% アナグマ 328% カラス △214% スズメ 314% ヒヨドリ △188% 合計 △83%	イノシシ 20.13 シカ 11.13 サル 0.07 アナグマ 0.33 カラス 0.34 スズメ 0.22 ヒヨドリ 0.06 合計 32.28	イノシシ 14.09 シカ 7.79 サル 0.05 アナグマ 0.23 カラス 0.24 スズメ 0.15 ヒヨドリ 0.04 合計 22.58	イノシシ 19.29 シカ 2.57 サル 0.04 アナグマ 0.06 カラス 0.32 スズメ 0.01 ヒヨドリ 0.01 合計 22.30	イノシシ 14% シカ 256% サル 150% アナグマ 270% カラス 0% スズメ 300% ヒヨドリ 250% 合計 103%	捕獲数については年々増加しており、農作物等への被害防止及び個体数調整への一定の効果が現られる。森林伐採等により、イノシシ・ニホンジカの生息地へ下り止まっている状態である。町としても出前講座や柵設置前の講習等を通じて意識改革に取り組んでいるが、意識を変えることに難しさを感じている。 また、整備事業によりワイヤーメッシュ柵・電気柵を整備した地区においては、イノシシ・ニホンジカの被害が大幅に軽減されるなど、当該事業の取組が大きく寄与していると考えられる。 しかしながら、侵入防止柵を設置していない地域や、これまでイノシシ・ニホンジカ等の出没がなかった地域での農作物等への被害が拡大しており、目標達成に至らなかった。当該事業を活用した侵入防止柵の整備や緊急捕獲、また、農林業者が自ら守る対策への支援として、産談会等の開催による周知啓発を進めてまいりたい。	イノシシの被害軽減目標が未達成となっており、再評価となった。町単独の予算措置による電気柵設置への補助や整備事業を活用した侵入防止柵の整備によって被害を抑える一定の効果が現られるが、森林伐採等により、イノシシ・ニホンジカの生息地への出没が多くなった地域は増加が見られる。 また、未整備の農地で耕作者自らが被害対策を行う意識が醸成されておらず被害が下げ止まっている状態である。 4月以降新たなジビエ加工施設の運用が始まり、捕獲従事者にとっては販売金が上乗せされることで捕獲意欲が増すことが期待される。一方、捕獲者と施設運営者としては捕獲個体(商品)の取り扱いについて産談の希冀が生じやすいことがあり、それらのズレを是正しにくいよう意見・情報交換等を行う機会を多く設けることが望ましい。 (一般財団法人 鹿児島県環境技術協会 稲留 陽助氏)	イノシシの被害軽減目標が未達成となっており、再評価となった。整備事業を活用した侵入防止柵の整備によって被害を抑える一定の効果が現られるが、森林伐採等により、イノシシ・ニホンジカの生息地への出没が多くなった地域は増加が見られる。 また、未整備の農地で耕作者自らが被害対策を行う意識が醸成されておらず被害が下げ止まっている状態である。 4月以降新たなジビエ加工施設の運用が始まり、捕獲従事者にとっては販売金が上乗せされることで捕獲意欲が増すことが期待される。			
				鳥獣被害防止施設	ワイヤーメッシュ柵 11地区 7,542m		野間獣害防止対策組合 田原獣害防止対策組合 仮屋原獣害防止対策組合 各組合(8地区)		100%													
			緊急捕獲	イノシシ 1,480頭 (捕獲頭数に1の増加に応じた加算のうち218頭) シカ 2,845頭 サル 3頭	—	100%																
		R4	推進体制の整備 有害捕獲 被害防除	会議開催事務費 狩猟免許取得事前講習会受講料助成 3人 生息状況調査員 1人(135日) 調査員燃料代(7月~2月) 調査員労災保険料 1人 サル捕獲用罠いわな 1基 実施隊研修旅費	さつま町鳥獣被害防止対策協議会	100%																
			鳥獣被害防止施設	ワイヤーメッシュ柵 2地区 3,900m 電気柵(4段) 1地区 9,600m	下川口獣害防止対策組合 城ノ下獣害防止対策組合 荒瀬獣害防止対策組合	100%																
			緊急捕獲	イノシシ 1,020頭 シカ 2,137頭 サル 1頭	—	100%																
西野鑑 伊佐市有害鳥獣対策協議会	伊佐市全域	R5	推進体制の整備 有害捕獲 被害防除	会議開催事務費 狩猟免許取得事前講習会受講料助成 11人 生息状況調査員 1人(135日) 調査員燃料代(7月~2月) 調査員労災保険料 1人 実施隊研修旅費	さつま町鳥獣被害防止対策協議会	R5	100%	このままでは捕獲したシカ、イノシシ等は全部処理されているが、ジビエ加工施設が令和6年度に建設されたことにより、食肉等の利活用が期待できる。	イノシシ 6,126 シカ 25,813 ノウサギ 451 合計 32,389	イノシシ 4,288 シカ 18,069 ノウサギ 316 合計 22,673	イノシシ 23,999 シカ 7,567 ノウサギ 0.30 合計 31,566	イノシシ △97% シカ 236% ノウサギ 334% 合計 8%	イノシシ 5.30 シカ 21.70 ノウサギ 0.30 合計 27.3	イノシシ 3.70 シカ 15.10 ノウサギ 0.20 合計 19.20	イノシシ 20.66 シカ 7.07 ノウサギ 0.00 合計 27.73	イノシシ △96% シカ 222% ノウサギ 300% 合計 △6%	捕獲努力はかなりなものと推察される。しかしながら被害が減っており、生息数は減少してはいるが、生					

[illegible]

事業実施主体名 (協議会名)	対象 地域	実施 年度	対象 鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用 開始	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績												事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価																										
										被害金額				被害面積				現状値	目標値	実績値	達成率				現状値	目標値	実績値	達成率																						
西評価 宇検村鳥獣被害 防止総合対策協 議会（宇検村）	宇検村 全域	R3	イノシシ カラス	推進体制の整備 有害捕獲	協議会の開催 箱わな（※） 14基 カラス捕獲器 1基	宇検村鳥獣被害防止総合対策協議会	R3	100%	山際に隣接しているほ場周辺でイノシシの被害が多発していたことから、緊急捕獲活動支援事業を活用した。令和6年度については、9回の実施隊の活動により追払いや捕獲活動を中心に行い被害防止に努めた。被害ほ場周辺にて狐友会が有害捕獲を行うとともに山際及び河川からの侵入防止のための柵を設置。これらの取組みにより、イノシシの有害捕獲頭数は令和5年から令和6年と比較すると142%増加となった。侵入防止柵整備後の有害捕獲頭数は減少傾向である。	イノシシ カラス 合計	2,224 186 2,410	イノシシ カラス 合計	1,556 130 1,686	イノシシ カラス 合計	2,914 212 3,126	イノシシ カラス 合計	4% △46% 1%	イノシシ カラス 合計	3.35 0.09 3.44	イノシシ カラス 合計	2.34 0.06 2.40	イノシシ カラス 合計	2.19 0.08 2.27	被害面積については、イノシシ防護柵等の設置により少なくなっているが、被害金額については達成率が低いようである。今後も狐友会を中心に捕獲、追払いを行う地域での取組みを強化して被害金額の減少に努めた。 また、箱わなによる捕獲でイノシシの被害面積は減少している。 現在、アマミクロウサギによる被害が増加しており、宇検村でも既に被害が発生している可能性が認められる。そのため、ウサギによる被害がどういったものを把握して、村内で同様な被害が発生していないか調べることが望ましい。被害が確認された場合は、次期計画でアマミクロウサギを対象として入れるとともに、ウサギ対応型の侵入防止柵の導入に向けての準備が必要である。カラスは小型の捕獲器が導入されているが、捕獲機材の導入されたい。捕獲実績のある自治体の捕獲態や設置場所を視察して、村内での導入の参考とすることが望ましい。 （一般財団法人 鹿児島県環境技術協会 稲留 陽助氏）	整備事業を活用した侵入防止柵の整備は、必要とされる場所の整備を終えており、小規模な農地には行機独自の助成が行われている。今後は、被害発生地を整理して個別の柵整備や加害個体の捕獲が必要である。 イノシシの捕獲では、幼獣の割合が2割程となっている。捕獲効率を高めるためにも箱わなの撒り糸を高くしたり、くくりわなの作動重量を重くすることで成獣の捕獲率を高めることが望ましい。 また、箱わなによる捕獲でイノシシの被害面積は減少している。	イノシシ及びカラスによる被害について、令和6年度にくりくりわなの設置や緊急捕獲に取り組み、令和5年度と比較して被害金額・面積の達成率はともに改善し、被害面積の合計達成率は113.5%と、達成状況判定基準の70%を大きく上回った。しかし、カラスの被害金額の達成率はマイナスとなっており、引き続き対策を行う必要がある。																								
				鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 1129.9m	宇検村		100%																			鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 477m	宇検村	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） 65頭 32頭	—	100%																
				有害捕獲	センサーカメラ 8個 カラス捕獲器 1基	宇検村鳥獣被害防止総合対策協議会		100%																			鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 477m	宇検村	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） 113頭 32頭	—	100%																
				有害捕獲	止刺し用具 一式 研修	宇検村鳥獣被害防止総合対策協議会		100%																			緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） 92頭 24頭	—	100%																				
				有害捕獲	センサーカメラ 3基 放任果樹・雑木林の伐採 被害状況調査 被害状況調査 事務用品	宇検村鳥獣被害防止総合対策協議会		100%																			鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 4,000m	瀬戸内町	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） 291頭 29頭 カラス 160羽	—	100%																
				鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 7,700m	瀬戸内町		100%																			緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 308頭 1頭 200羽	—	100%																				
		R4	イノシシ カラス アマミクロウサギ	被害防除	電気止刺し器 1基 放任果樹・雑木林の伐採 先進地視察研修 被害状況調査 被害状況調査 事務用品	瀬戸内町有害鳥獣対策協議会	R4	100%		推進事業により被害発生地区の発生原因・状況等の把握が図られた。また、捕獲機材の導入による捕獲対策への取組も推進され、被害発生地区での捕獲に繋がった。緊急捕獲活動支援事業においては、狩猟者の狩猟意欲の向上が図られ、有害鳥獣の捕獲数は増加傾向にある。	イノシシ カラス アマミクロウサギ 合計	4,490 1,769 10 6,269	イノシシ カラス アマミクロウサギ 合計	3,143 1,238 6 4,387	イノシシ カラス アマミクロウサギ 合計	5,135 2,686 120 7,941	イノシシ カラス アマミクロウサギ 合計	△47% △172% △3,700% △88%	イノシシ カラス アマミクロウサギ 合計	5.51 1.80 0.01 7.32	イノシシ カラス アマミクロウサギ 合計	3.85 1.26 0.007 5.117	イノシシ カラス アマミクロウサギ 合計				3.71 1.68 0.08 5.47	イノシシ カラス アマミクロウサギ 合計	108% 22% △2,333% 84%																					
				鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 6,640m	瀬戸内町		100%																						緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 331頭 1頭 426羽	—	100%																	
				有害捕獲	鳥獣被害調査 刈払機リース料 放任果樹・雑木林の伐採 先進地研修旅費 事務用品	瀬戸内町有害鳥獣対策協議会		100%																						鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 6,640m	瀬戸内町	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 331頭 1頭 426羽	—	100%													
				鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 6,640m	瀬戸内町		100%																						緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 331頭 1頭 426羽	—	100%																	
				有害捕獲	鳥獣被害調査 刈払機リース料 放任果樹・雑木林の伐採 先進地研修旅費 事務用品	瀬戸内町有害鳥獣対策協議会		100%																						鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 6,640m	瀬戸内町	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 331頭 1頭 426羽	—	100%													
				鳥獣被害防止施設	金網柵 1地区 6,640m	瀬戸内町		100%																						緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 331頭 1頭 426羽	—	100%																	
西評価 知名町有害鳥獣 捕獲対策協議会 （知名町）	知名町 全域	R3	イノシシ カラス キジ	有害捕獲	カラス捕獲器 1基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	R3	100%	令和3年度にカラス捕獲器1台、4年度にイノシシ捕獲器3台を推進事業で導入し、令和6年度においても継続して被害発生箇所管理している。緊急捕獲活動支援事業ではイノシシ、カラスを対象に実施し、被害金額及び被害面積共に軽減して被害防止計画の目標を達成した。	イノシシ カラス 合計	143 102 245	イノシシ カラス 合計	100 71 203	イノシシ カラス 合計	0 46 118	イノシシ カラス 合計	333% 181% △197%	イノシシ カラス 合計	0.10 0.07 0.20	イノシシ カラス 合計	0.07 0.05 0.14	イノシシ カラス 合計	0 0.02 0.04	イノシシ カラス 合計	333% 250% 267%																									
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%																	
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%																	
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%																	
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%																	
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%																	
		R4	イノシシ カラス キジ	有害捕獲	カラス捕獲器 1基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	R4	100%																		令和3年度にカラス捕獲器1台、4年度にイノシシ捕獲器3台を推進事業で導入し、令和6年度においても継続して被害発生箇所管理している。緊急捕獲活動支援事業ではイノシシ、カラスを対象に実施し、被害金額及び被害面積共に軽減して被害防止計画の目標を達成した。	イノシシ カラス 合計	143 102 245	イノシシ カラス 合計	100 71 203	イノシシ カラス 合計	0 46 118	イノシシ カラス 合計	333% 181% △197%	イノシシ カラス 合計	0.10 0.07 0.20	イノシシ カラス 合計	0.07 0.05 0.14	イノシシ カラス 合計	0 0.02 0.04	イノシシ カラス 合計	333% 250% 267%								
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%
				緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%
R5	イノシシ カラス キジ	有害捕獲	カラス捕獲器 1基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	R5	100%	令和3年度にカラス捕獲器1台、4年度にイノシシ捕獲器3台を推進事業で導入し、令和6年度においても継続して被害発生箇所管理している。緊急捕獲活動支援事業ではイノシシ、カラスを対象に実施し、被害金額及び被害面積共に軽減して被害防止計画の目標を達成した。	イノシシ カラス 合計	143 102 245	イノシシ カラス 合計	100 71 203	イノシシ カラス 合計	0 46 118	イノシシ カラス 合計	333% 181% △197%	イノシシ カラス 合計	0.10 0.07 0.20	イノシシ カラス 合計	0.07 0.05 0.14	イノシシ カラス 合計	0 0.02 0.04	イノシシ カラス 合計	333% 250% 267%																											
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基																		知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基																		知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基																		知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基																		知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																		有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基																		知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
R6	イノシシ カラス キジ	有害捕獲	カラス捕獲器 1基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	R6	100%																		令和3年度にカラス捕獲器1台、4年度にイノシシ捕獲器3台を推進事業で導入し、令和6年度においても継続して被害発生箇所管理している。緊急捕獲活動支援事業ではイノシシ、カラスを対象に実施し、被害金額及び被害面積共に軽減して被害防止計画の目標を達成した。	イノシシ カラス 合計	143 102 245	イノシシ カラス 合計	100 71 203	イノシシ カラス 合計	0 46 118	イノシシ カラス 合計	333% 181% △197%	イノシシ カラス 合計	0.10 0.07 0.20	イノシシ カラス 合計	0.07 0.05 0.14	イノシシ カラス 合計	0 0.02 0.04	イノシシ カラス 合計	333% 250% 267%										
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
R7	イノシシ カラス キジ	有害捕獲	カラス捕獲器 1基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	R7	100%	令和3年度にカラス捕獲器1台、4年度にイノシシ捕獲器3台を推進事業で導入し、令和6年度においても継続して被害発生箇所管理している。緊急捕獲活動支援事業ではイノシシ、カラスを対象に実施し、被害金額及び被害面積共に軽減して被害防止計画の目標を達成した。	イノシシ カラス 合計	143 102 245	イノシシ カラス 合計	100 71 203	イノシシ カラス 合計	0 46 118	イノシシ カラス 合計	333% 181% △197%	イノシシ カラス 合計	0.10 0.07 0.20	イノシシ カラス 合計	0.07 0.05 0.14	イノシシ カラス 合計	0 0.02 0.04	イノシシ カラス 合計	333% 250% 267%																											
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
R8	イノシシ カラス キジ	有害捕獲	カラス捕獲器 1基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	R8	100%																		令和3年度にカラス捕獲器1台、4年度にイノシシ捕獲器3台を推進事業で導入し、令和6年度においても継続して被害発生箇所管理している。緊急捕獲活動支援事業ではイノシシ、カラスを対象に実施し、被害金額及び被害面積共に軽減して被害防止計画の目標を達成した。	イノシシ カラス 合計	143 102 245	イノシシ カラス 合計	100 71 203	イノシシ カラス 合計	0 46 118	イノシシ カラス 合計	333% 181% △197%	イノシシ カラス 合計	0.10 0.07 0.20	イノシシ カラス 合計	0.07 0.05 0.14	イノシシ カラス 合計	0 0.02 0.04	イノシシ カラス 合計	333% 250% 267%										
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
R9	イノシシ カラス キジ	有害捕獲	カラス捕獲器 1基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	R9	100%	令和3年度にカラス捕獲器1台、4年度にイノシシ捕獲器3台を推進事業で導入し、令和6年度においても継続して被害発生箇所管理している。緊急捕獲活動支援事業ではイノシシ、カラスを対象に実施し、被害金額及び被害面積共に軽減して被害防止計画の目標を達成した。	イノシシ カラス 合計	143 102 245	イノシシ カラス 合計	100 71 203	イノシシ カラス 合計	0 46 118	イノシシ カラス 合計	333% 181% △197%	イノシシ カラス 合計	0.10 0.07 0.20	イノシシ カラス 合計	0.07 0.05 0.14	イノシシ カラス 合計	0 0.02 0.04	イノシシ カラス 合計	333% 250% 267%																											
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	100%	緊急捕獲	イノシシ イノシシ（幼） カラス 635羽	—	100%		
R10	イノシシ カラス キジ	有害捕獲	カラス捕獲器 1基	知名町有害鳥獣捕獲対策協議会	R10	100%																		令和3年度にカラス捕獲器1台、4年度にイノシシ捕獲器3台を推進事業で導入し、令和6年度においても継続して被害発生箇所管理している。緊急捕獲活動支援事業ではイノシシ、カラスを対象に実施し、被害金額及び被害面積共に軽減して被害防止計画の目標を達成した。	イノシシ カラス 合計	143 102 245	イノシシ カラス 合計	100 71 203	イノシシ カラス 合計	0 46 118	イノシシ カラス 合計	333% 181% △197%	イノシシ カラス 合計	0.10 0.07 0.20	イノシシ カラス 合計	0.07 0.05 0.14	イノシシ カラス 合計	0 0.02 0.04	イノシシ カラス 合計	333% 250% 267%										
		緊急捕獲	イノシシ 4頭	—		100%																																			有害捕獲	イノシシ捕獲器 3基								

事業実施主体名 (協議会名)	対象 地域	実施 年度	対象 鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用 開始	利用率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見	都道府県の評価
										被害金額				被害面積						
										現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値	達成率			

注1:被害金額及び被害面積の目標欄については対象鳥獣及び目標値を記し、これに合わせて他の欄も記載する。
2:都道府県が事業実施主体となる鳥獣被害防止都道府県活動支援事業を実施した場合、その事業内容等も記載すること。
3:事業効果は記載例を参考とし、獣種等ごとに事業実施前と事業実施後の定量的な比較ができるよう時間軸を明確に記載の上、その効果を詳細に記載すること。整備事業を行った場合、捕獲効率の向上にどのように寄与したかも必ず記載すること。
4:「事業実施主体の評価」の欄には、その効果に対する考察や経営状況も詳細に記載すること。
5:鳥獣被害防止施設の整備を行った場合、侵入防止柵設置後のほ場ごとの鳥獣被害の状況、侵入防止柵の設置及び維持管理の状況について、地区名、侵入防止柵の種類・設置距離、事業費、国費、被害金額、被害面積、被害量、被害が生じた場合の要因と対応策、設置に係る指導内容、維持管理方法、維持管理状況、都道府県における点検・指導状況等を様式に具体的に記載し、添付すること。

6:被害防止計画に定められた全ての対象鳥獣について、鳥獣ごとに実績値や達成率等を記載すること。また、合算達成率も記載すること。
7:次のいずれかに該当する場合には、達成率が低調であると判定すること。
(1)被害面積、被害金額等について、合算達成率が共に70%未満である場合
(2)次に該当する鳥獣種の被害面積、被害金額等について、対象鳥獣ごとの達成率が共に70%未満である場合
ア 被害金額全体(全ての対象鳥獣における被害金額(実績値)の合計をいう。以下イにおいても同じ。)の2割以上を占めるシカ又はイノシシ
イ 被害金額全体の5割以上を占めるシカ及びイノシシ以外の対象鳥獣
8:目標が未達成となった場合は、「都道府県の評価」の欄に、総合支援チェックシート及び緊急捕獲チェックシートの遵守状況に係る確認結果を記載すること。
なお、遵守状況の確認に当たっては、証拠書類の保存・提出は必須ではない。ただし、聞き取りの結果、書類を保存していると回答があった場合には、当該書類を確認する場合がある。

5 都道府県による総合的評価

野生鳥獣による農作物の令和6年度の被害額は、前年度よりヒヨドリの被害が大幅に増加したことにより、約242百万円増の約540百万円(対前年度比181%)となった。 これまで県が進めてきた①研修会等を通じた集落ぐるみの取組みやその指導者の育成、②県鳥獣被害対策アドバイザーの派遣のほか、③農家等の自衛的なわな罠の取組みの推進、④侵入防止柵の整備やICT等を活用した捕獲機材の整備、捕獲活動経費などの支援⑤県が主導して実施する広域捕獲活動等(R5年度:生息状況調査、R6年度:広域捕獲)の取組みをより強化し、今後も市町村等と連携し「寄せ付けない」、「侵入を防止する」、「個体数を減らす」の3つの取組みを総合的かつ一体的に推進し、野生鳥獣による農作物被害の軽減に取り組む必要がある。
--